

2019年度導入 ものづくりを支援する最新装置

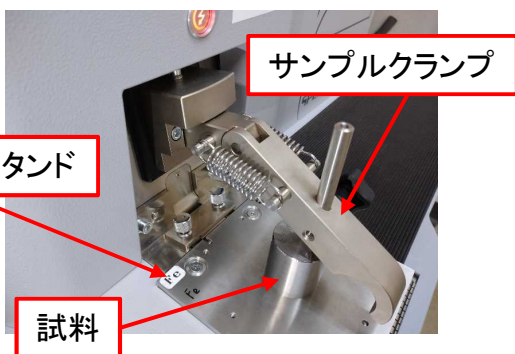
スパーク放電発光分光分析装置

【装置概要】

固体金属（鉄鋼や非鉄金属等）に含有している元素の種類と量を測定する装置です。試料表面にスパーク放電を行い、発生した光の波長と強度を分析します。

【特徴】

- **測定元素が豊富**
 - ・ CCD検出器を搭載しており多元素の測定が可能です。
 - ・ ベース金属10種に対応しています。（下記）
- **前処理が容易**
 - ・ 測定孔（直径13mm）をふさぐことができる平滑な面があれば測定できます。
 - ※ 試料に凹凸があるなど測定孔を適切にふさぐことができないと、測定結果に影響します。
- **迅速簡便な測定**
 - ・ スパークスタンドに試料を置き、上からサンプルクランプを下ろせばセット完了です。
 - ・ セットしてから1測定終わるまで1分程度です。（複数点の測定を推奨）



【用途】

鋼種判定

・ 金属材料にどのような合金元素が含まれているか測定

品質管理

・ ロットの異なる材料中の合金元素の含有率を測定

など

【主な仕様】

製造者	アメテック株式会社
型式	SPECTROMAXx
分光器	パッシェン・ルンゲ形

ベース金属 (マトリクス)	10種類に対応（鉄, アルミニウム, 銅, ニッケル, コバルト, マグネシウム, チタン, スズ, 鉛, 亜鉛）
測定孔	直径13mm